

やまのべ 議会だより

創る、繋ぐ。子どもたちが誇れるまち

2018
平成30年10月25日発行
No.102

やまのべ
議会だより

2018年10月号VOL.102



| | |
|------------------|----|
| 9月定例会 | 2 |
| 決算特別委員会 | 4 |
| 町政のここはどうする? 一般質問 | 8 |
| 新しい町への挑戦 議会活動報告 | 14 |

町ホームページで
議会中継を
発信中!!

発行/山形県山辺町議会
編集/広報常任委員会
Eメール:gikai@town.yamanobe.yamagata.jp
〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地
TEL.023-667-1117 FAX.023-667-1118



あなたの声をお聞かせください

旧鳥海小・中中を
活用した滞在型
施設整備とスポ
ーツを楽しめる施設
がほしいなあ。

地域の地形や資源を
活かした都市と農村
との交流ができない
かなあ。

魅力発信の
ために娯楽
施設を考え
てほしい。

町が素晴らしい
魅力を積極的に
発信してもらい
たい。

地域にカフェや産直施設に
よる賑わい創出の拠点づく
りができないかなあ。

中地区で活動する「ちくわんびーず」

友達との語り合いや汽車の待ち時間
のため、喫茶もできる施設を設置し
てもらいたい。

特に若い世代のため、
役場に総合窓口を設置
してもらいたい。

わたしたちは地域活動を応援しています

表紙の説明



山辺高等学校茶道部3年生
による引退茶会が9月12日、ご
家族や地域の方を招待し、山辺
高校教育振興会で購入していた
だいた茶釜の初披露目もかね
て行われました。

緊張の中でのお茶点では初々
しさもあり、高校生らしい心の
こもったお抹茶が振舞われまし
た。静かに見守るお客様も、美味
しいお茶とお菓子を頂くと自然
に笑顔があふれてきます。「あり
がとう、美味しかったよ」という
言葉に、張りつめていた心もゆる
み生徒達もニッコリと笑顔に。

茶道で得た和の心をいつまで
も持ち続けてほしいと思います。

編集後記

各地で最高気温記録が塗り
替えられた今夏。山形でも例
年にならないほどの暑さが続き、
体調を崩された方も多かった
のではないのでしょうか。

また、自然災害も全国で多
く発生しました。幸い当町で
は大きな被害はありませんで
したが、いづどんな災害が起
こるか分らない今、備えだ
けはしておきたいものです。

しかし、季節ごとにとても
美しい姿を見せてくれるのも
日本の良いところ。山辺の日々
の景色を見る心の余裕も持ち
たいものです。

渡邊 裕一記

- 発行責任者
議長 齋藤 邦彦
- 広報常任委員会
委員長 遠藤 真由美
副委員長 本田 四志子
委員 齊藤 昭彦
委員 神保 裕
委員 渡邊 裕二
委員 安達 春彦

◎町ホームページから、議会だよりが閲覧できます。

<http://www.town.yamanobe.yamagata.jp/>





平成 29 年度 一般会計・特別 会計総額 96 億 3757 万円

安心・安全・住みよい まちづくりの推進

第3回定例会
9月4日～14日

みんなの暮らしに
こう役立ちました！

定
例
会

○豊かで活力のある産業のまちづくり 2億 3011 万円

商工業・観光振興／畜産振興／担い手育成支援／
三河尻地内排水整備設計委託



日本の原風景 大蔵棚田

○美しく住みやすい安心安全なまちづくり 4億 2003 万円

コミュニティバス運行・温泉保養センター委託／
LED 防犯灯更新／常備消防活動・ドクターヘリ支援／
除雪対策／住宅建設支援・整備



保健福祉センター 輝らりやまのべ

○人にやさしい環境型のまちづくり 8874 万円

エネルギー回収施設負担／ごみ減量化対策

○健やかで安らぎのある助け合いのまちづくり 1億 7546 万円

疾病予防／母子保健／健診検診／健康延伸／子育て支援／
保育実施



ふるさと資料館所蔵の紅花染打掛

○人と心と文化を育むまちづくり 1億 4440 万円

小・中学校管理／公民館管理／資料館管理／芸能文化振興／
体育スポーツ振興

平成 29 年度一般会計主な重点事業

*ふるさと応援事業（寄附者への記念品など）
2億 6201 万円

⇒寄附目的により活用しました。
基金からの繰入 1億 1915 万円

*小中学校コンピュータ整備事業

- ・小学校コンピュータリース料 1476 万円
- ・中学校コンピュータリース料 453 万円



コンピュータ整備事業

定例会のあらまし
平成30年第3回定例会が、9月4日から14日までの11日間の日程で開催され、5人の議員が一般質問を行いました。また、決算特別委員会を設置し、平成29年度一般会計並びに特別会計歳入歳出決算について審査しました。

平成 29 年度 決算状況

| 項 目 | | 歳入決算額 | 歳出決算額 |
|---------|---------|--------------------|--------------------|
| 一 般 会 計 | | 56 億 8372 万 6503 円 | 54 億 9287 万 7606 円 |
| 特別会計 | 国民健康保険 | 17 億 2008 万 2701 円 | 16 億 5104 万 9191 円 |
| | 簡易水道等 | 1509 万 9594 円 | 1363 万 8801 円 |
| | 公共下水道 | 4 億 7485 万 8580 円 | 4 億 7485 万 8580 円 |
| | 介護保険 | 15 億 7618 万 5574 円 | 15 億 6883 万 0085 円 |
| | 後期高齢者医療 | 1 億 6761 万 8949 円 | 1 億 5303 万 5449 円 |
| | 計 | 39 億 5384 万 5398 円 | 38 億 6141 万 2106 円 |
| 合 計 | | 96 億 3757 万 1901 円 | 93 億 5428 万 9712 円 |

監査委員報告



渡邊俊博代表監査委員

平成 29 年度決算について、詳細に審査した結果、いずれも関係法令等に基づき算定され、適正に処理されているものと認める。

なお、次の事項について、今後一層努力されることを望みたい。

1. 現在取り組んでいる各事業や補助金などについて、PDCA サイクルによる検証と見直し、改善を実施されたい。
2. 人口減少社会の到来により、社会保障関係経費の増加や、地方債の現在高が増加していくことが懸念される。事業実施にあたっては内容を十分に精査し、将来の展望に立ち、人口を見据えた財政の健全化に努められたい。



樋口和男議員
国民健康保険事業
功労者表彰受賞

山辺町国民健康保険運営協議会の会長として、長年にわたり国民健康保険事業運営に寄与された功績が認められ表彰されました。

町民の暮らし向上に どのように活かされたか!

チェック

決算特別委員会

Q&A

9月6日、議長を除く全議員が所属する決算特別委員会が設置され、委員長に遠藤真由美議員、副委員長に神保稔議員を選出しました。7日、10日は、第1分科会（総務文教関係）、11日、12日には第2分科会（厚生産業関係）の審査をして、14日の本会議にて全会一致で認定しました。

総務文教

第1分科会

総務課・防災対策課・税務課・会計課・政策推進課
教育委員会教育課・議会事務局

Q 町職員のストレスチェックの状況はどうか。

A 国で義務化されている。5月に実施しているが、高ストレス者には面談や専門医を受診するよう勧められている。（総務課）

Q 警鐘台の撤去について、どのように進めているのか。

A コンビニ交付とコンビニ納付がある。手数料が高額の

Q 警鐘台の多くは経年劣化が見られるので、地元から要望のあった箇所を中心に毎年計画的に撤去している。（防災対策課）

Q 町税にかかるコンビニ納付に向けて導入の検討は。

A コンビニ交付とコンビニ納付がある。手数料が高額の

ため、経費の問題があり、進んでいない。（税務課）

Q 地域コミュニティ推進費について、ブロック協議会の役割など各地区の温度差があるのでは。

A ブロック協議会の連絡調整会議を開催して、各地域の事業の情報交換を実施した。各地域での交流という「絆づくり」を大切にして、災害時の活動に活かしていきたい。（政策推進課）

Q 新聞活用教育活動の現状は。

A 意見文や新聞作成のための地域調査、地域人材との交流が増加している。同世代の活躍記事に触れる機会が増え、向上心が育まれている。（教育委員会）

Q いじめ問題対策について。

A いじめ問題対策連絡協議会を発足し、いじめ防止の観点からインターネット上のいじめ未然防止に向けた提言を検討している。（教育委員会）

Q 今年度使用を中止したウオータースライダー。利用者の声は。

A 利用について問い合わせが数件あった。プールは中学生の利用が特に減っている。今後3カ年計画の中で検討していく。（教育委員会）



経年劣化が心配される警鐘台



情報が共有できる新聞活用教育

厚生産業

第2分科会

町民生活課・保健福祉課・産業課
農業委員会・建設課

Q コミュニティバスは平成28年度と比較し利用者が減少しているが理由は何か。また、現在フリーストップ区間は山間部のみだが、平野部にも実施できないか。

A 利用者の減は人口減少によるものが大きいと思われる。平野部のフリーストップ区間については、警察との協議も必要であり、安全面などを考慮すると平野部での導入は困難と思われる。（町民生活課）

Q LED防犯灯補助は平成30年度までの5年間であるが、その後要望があれば継続するのか。

A いったん区切る方向であれば、要望があれば検討していく。（町民生活課）

Q 敬老会の実施にまついて意見などはないのか。また、実施率はどうか。

A 平成29年度から地区に移行したが実施率は79.5%。地区で行うことにより高齢者の把握を出来るようになった。また、緑ヶ丘・相模・大寺・中・作谷沢・近江地区はブロック協議会単位で実施している。今年度は90%を超えると思われる。（保健福祉課）

Q 結婚支援事業の実施状況は。

A むらやま広域婚活事業実行委員会が年5〜6回婚活イベントを開催している。支援員への相談件数は141件あり、お見合いなども実施。現在町に定住している成婚者は2組。（保健福祉課）

Q シルバー人材センターの会員数と課題は。

A 会員は男性111名、女性66名計180名。課題は、出来る仕事、出来ない仕事があるため、マッチングするような仕組みづくりや、需要と供給について指導していきたい。（産業課）

Q 6次産業の取り組みは。

A 平成29年度は、町内産の果物を



町内産の素材にこだわったソース

Q 鳥獣被害や捕獲の状況はどうか。

A 鳥獣被害は、イノシシ・ハクビシンなどによるものが

多い。平成29年度の捕獲状況はイノシシを3頭。今年度から被害額も把握できるようにしていきたい。（産業課）

Q 現在通行止め箇所はいくつあるのか。

A 通行止め箇所は現在11ヶ所である。（建設課）



相模地区敬老会

平成30年度 一般会計補正予算 4720万円を追加し 条例・補正予算などを

主な補正予算の内容

- 地方交付税の確定をはじめ認定こども園施設整備事業補助金によるもの (7246万円)
- 今年度の人事異動による職員給料・手当の減額 (459万円)
- 子育て支援推進事業計画策定に係るニーズ調査費として増額 (248万円)
- 地方創生交付金の交付決定により減額 (472万円)
- 除雪体制の充実のため増額 (4000万円)
- 繰越金 7084万円の増額は、平成 29 年度の決算によるもの



認定こども園の開園が待たれるやまべ幼稚園

特別会計補正予算

| 会計名 | 理由 | 本年度予算額 |
|-------------|---|--------------------|
| 国民健康保険特別会計 | 県広域化に合わせ、税率などの見直しによる減額と平成 29 年度繰越金の確定、国庫負担金の確定により歳入歳出それぞれ 3304 万円を追加。 | 総額 14 億 9403 万円 |
| 簡易水道等特別会計 | 平成 29 年度繰越金の確定と減額はなく、歳入予算額を調整。総額は当初予算と同じ。 | 総額 2390 万円 |
| 介護保険特別会計 | 平成 29 年度繰越金と交付金額の確定。元号改正対応によるシステム改修などにより、歳入歳出それぞれ 2773 万円を追加。 | 総額 15 億 9796 万円 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 平成 29 年度繰越金の確定と保険料納付金の確定により、歳入歳出それぞれ 1458 万円を追加。 | 総額 1 億 6981 万円 |

それぞれ 可決、認定 総額 51 億 8486 万円

町土地開発公社が所期の目的達成により解散を可決

町土地開発公社の解散

昭和 48 年に町が 500 万円を出資し設立した。平成 19 年度以降は事務費などの支出のみで、昨今の社会経済状況および将来に向けての町の計画を鑑み、公社として所期の目的が達成されたものとみなし、公社理事会において解散の同意が得られたことから、公有地の拡大の推進に関する法律に基づき提案され、審議の結果賛成多数により可決されたもの。

第 3 回定例会において、条例の改正など 4 議案、一般会計および特別会計補正予算 5 議案を審議し、いずれも原案どおり可決、認定しました。また、平成 29 年度健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率について報告されました。

町道路線 2 路線の認定



町浦線 (鍛冶町)
(総延長約 47 m、幅員約 6~12m)



蒲沖 6 号線 (大門②)
(総延長約 72 m、幅員約 6~12m)

報告事項

平成 29 年度健全化判断及び公営企業の資金不足比率

① 実質赤字比率・連結実質赤字比率／実質赤字なし

② 実質公債費比率

H 29 28 27
9・7 % 9・8 % 10・3 %

③ 将来負担比率

H 29 28 27
79・4 % 80・1 % 74・1 %

④ 資金不足比率／資金不足額 (赤字額) なし

条例の一部改正

町税条例、町国民健康保険条例の一部改正

平成 30 年度税制改正に伴い、町税条例の整備を図るとともに町国民健康保険条例の減免の特例についても整備、補完するもの。

町防災体制について問う

(町長) 避難施設ごとに備蓄品配備を考えていく



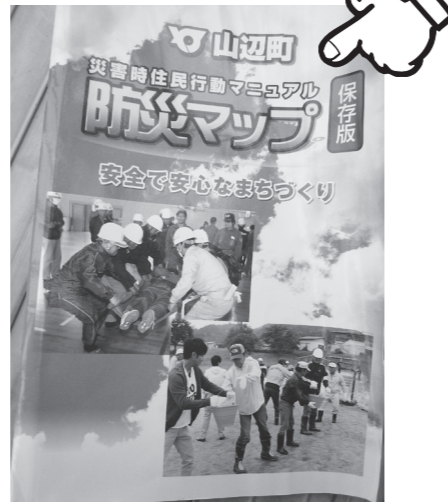
齊藤 昭彦

質問 浸水区域見直しに伴う、避難場所の見直しはあったのか。

答弁 平成29年1月国が公表した洪水浸水想定区域図と平成14年に公表された洪水浸水想定区域との比較では浸水範囲に大きな変化はなく、全戸に配布している防災マップの浸水想定区域とほとんど差異はなく避難場所の見直しする必要が無いと考えている。
しかし、一級河川小鶴沢川については、今年度中に県の見直しを実施され、年度末には報告されるので、見直し状況によっては、改めて避難場所を見直す必要が出てくる。その時は、速やかに町民への

質問 各地区の避難場所への備蓄品の配布は行っているのか。

答弁 中支所および作谷沢支所には配布しているが、各避難所への配布は行っていない。
町の備蓄品は地域防災計画に基づき1千人



各戸に配布された防災マップ

の周知を図っていく。
分の3食3日間合計9千食を計画数量とし、主食、汁物など約1万食を備蓄倉庫に保管している。他にも緊急マットや紙おむつ、毛布などの備品についても、毎年計画的に購入整備を図っている。

質問 援協定を締結しているため事業者から必要物資などが受けられることになっている。
また、友好都市の日立市とも応援協定を締結している。

答弁 現在、避難所のうち、指定管理を行っていない施設は無い。今後、指定管理者

質問 避難所となつて立市とも応援協定を締結している。
また、友好都市の日立市とも応援協定を締結している。

答弁 町民総合体育館については、発電機および投光機を各2台配備している。

また、最上川中部水道企業団から組立式簡易水槽一基、日本赤十字社山形県支部よりガス式大釜一基を貸与されており、備品も、より一層の充実が図られている。
災害時必要な物資、食料、医療などについては各企業と災害時応



町民総合体育館に配備されている発電機



町政の一般質問 ここはどうする?

一般質問は、議員が町の行財政や将来に対する考え方などを問い、適切な町政運営を進めているかチェックするものです。山辺町議会では、年4回の定例会で議員が一般質問をしています。

傍聴しませんか 次回の定例会は12月です。お気軽にお越しください。電話 023-667-1117(議会事務局)

9月定例会では、5人の議員が一般質問を行いました。

齊藤 昭彦 防災体制 町防災体制について問う

武田啓一郎 国保運営 ようやく国保税の資産割廃止 過去の不公平 清算すべきでは

遠藤真由美 教育環境 この夏の猛暑、子どもたちの環境対策は

安達 春彦 介護対策 山辺町の介護に対する取り組みは

本田四志子 子育て支援 将来の子育て支援は人口減少抑制を考えた環境づくりから

町ホームページで 議会中継を 発信中!!

一般質問は、一問一答方式ですが、紙面の関係で主な質問と答弁を要約して掲載しています。

この夏の猛暑、子どもたちの環境対策は

(町長) 来年度から小学校エアコン設置に向け取り組んでいく



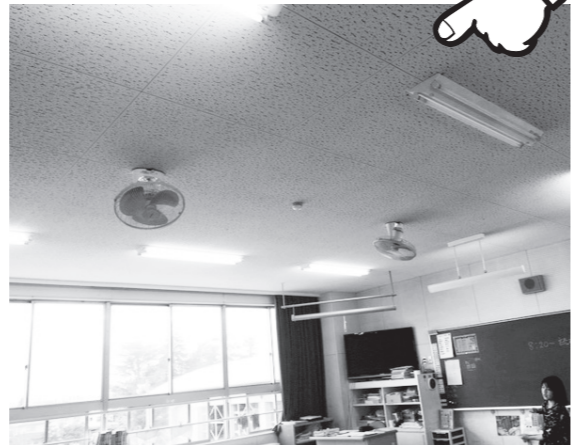
遠藤真由美

質問 近年の地球温暖化の影響もあり、日本列島の各所が猛暑に見舞われた。児童の熱中症を防ぐための対策は。

回答 教室の気温、湿度は、各学校とも午前と午後2回の測定に加え、その日の状況により随時測定をしている。子ども達には水筒を持参してもらいこまめな水分補給や、扇風機の設置、エアコンのある教室(視聴覚室)や公民館を活用しての授業を行った。暑さ指数によっては体育の授業や休み時間の運動制限を行うとともに、休み時間にはエアコンのある教室を開放するなどした。中学校では体育着で

質問 熱中症の危険が分かる「指数計」の使用は。また、暑さによる体調不良での保健室利用はあったか。

回答 簡易型指数計を、全ての学校の

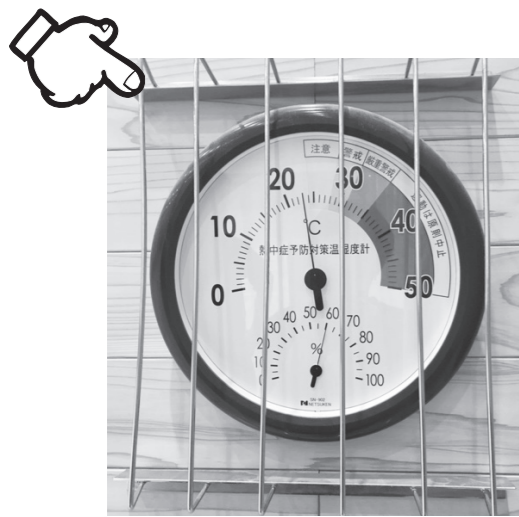


エアコンがあれば更に効果的な扇風機

の登校を認めるなどの暑さ対策を行った。熱中症の危険が分かる「指数計」の使用は。また、暑さによる体調不良での保健室利用はあったか。

質問 山辺中学校のエアコン使用条件は。部活動を行う際の対応は。

回答 山辺中学校のエアコン使用条件は、部活動を行う際の対応は。



山辺中学校体育館に設置の熱中症指数計

質問 職員室入り口付近の温度計が29度を超えた場合に設定温度を28度にして使用し、必要に応じて個別に使用している。

回答 職員室入り口付近の温度計が29度を超えた場合に設定温度を28度にして使用し、必要に応じて個別に使用している。

質問 小学校へのエアコン設置について町の見解は。

回答 子どもたちの命を守り、安心、安全に学習や活動できる環境整備をすることは町としても急務と考える。来年度から設置に向け取り組んでいきたい。

ようやく国保税の資産割廃止 過去の不公平 清算すべきでは

(町長) 基金の直接還付などは現実的には困難



武田啓一郎

質問 今年4月、国民健康保険が県一本化。著しい人口減少化と超高齢化社会の中で、安定的な国保制度維持などに、スケールメリットが期待される。しかし、町国保税は、これまで近隣市町でも100分の47という資産割を徴収し、重税感が指摘されてきた。平成24年12月議会で、『国保税資産割の見直し検討を』として、資産割比率の段階的引き下げについて一般質問を行ったが、その後5年間、何の手立ても、検討事項報告も無かったのはなぜか。

回答 4月に県広域化により、国保税の見直しを行った。市街化区域内に土地を所有されている被保険者は、平

平成30年度国保税賦課の新税率(平成30年4月1日～)

| 区分 | 医療保険分 | 後期高齢者支援金分 | 介護納付金分 |
|-------|---------------------|-----------------|-----------------|
| 所得割 | 7.40% → 7.35% | 2.50% → 2.45% | 1.50% (変更なし) |
| 資産割 | 29.00% → 0% | 9.00% → 0% | 9.00% → 0% |
| 均等割 | 23,500円 (変更なし) | 6,500円 (変更なし) | 10,000円 (変更なし) |
| 平等割 | 28,000円 → 27,000円 | 8,000円 → 7,000円 | 8,000円 → 4,500円 |
| 課税限度額 | 540,000円 → 580,000円 | 190,000円 | 160,000円 |



質問 不公平だった事実認識の下、国保保険給付基金現在高で可能な限り、清算還付し、重複課税、不公平と届かぬ叶わぬ声を発してきた町民に配慮すべきでないか。

回答 国保保険給付基金については、名称を国保事業基金と改めた。基金残高は、29年度

質問 重複課税と不公平解消を指摘してきた国保被保険者に対する説明と対応はどうか。

回答 基金は、被保険者に対する将来的な保険負担の軽減に活用させていただき、被保険者に対し直接還付等を行うことは、現実的には困難である。県への事業費納付金の額および標準保険税率等に基づき適宜検討を行い、必要に応じて見直しを行う。基金残高も勘案しながら、可能である場合にはさらなる引き下げも検討していく。



平成29年度と平成30年度の国保税比較(市街化区域住民の資産割廃止の一例・60代夫婦2人)

| | 平成29年度 | | | | 平成30年度 | | | | 差額(減額額) |
|------|----------|---------|---------|----------|----------|---------|---------|----------|-----------|
| | 医療保険分 | 後期支援分 | 介護支援分 | 小計 | 医療保険分 | 後期支援分 | 介護支援分 | 小計 | |
| 所得割 | 219,639円 | 74,202円 | 44,521円 | 338,362円 | 195,598円 | 65,199円 | 39,918円 | 300,715円 | ▲37,647円 |
| 資産割 | 37,265円 | 11,565円 | 11,565円 | 60,395円 | 0円 | 0円 | 0円 | 0円 | ▲60,395円 |
| 均等割 | 47,000円 | 13,000円 | 20,000円 | 80,000円 | 47,000円 | 13,000円 | 20,000円 | 80,000円 | 0円 |
| 平等割 | 28,000円 | 8,000円 | 8,000円 | 44,000円 | 27,000円 | 7,000円 | 4,500円 | 38,500円 | ▲5,500円 |
| 計 | | | | 522,757円 | | | | 419,215円 | ▲103,542円 |
| 年間税額 | | | | 522,600円 | | | | 419,000円 | ▲103,600円 |

※質問者の試算による

子育て支援

将来の子育て支援は人口減少抑制を考えた環境づくりから

(町長) さらなる子育て環境に取り組んでいく



本田四志子

質問 子供が安心して過ごせる場所が家庭であり、日々健やかに成長してほしいと願うのは子を持つ親の心である。当町の子育て支援策は近隣市町どこよりも早くスタートし、現在も切れ目なく展開・推進されている。今後は子育て支援をどのように推進していくのか。

回答 安達峰一郎記念保育所に子育て支援センターを設置し、保育所と各公民館の子育て広場で遊びの場を提供するとともに、保健師・助産師・栄養士などによる健康指導、子育て相談を充実させ、子育ての喜びを実感できる環境づくりに努めている。

質問 ここ5年間の20代〜30代若者の転入、転出者数の推移は、

回答 また、保護者のパートナー就労・傷病・冠婚葬祭などの理由で保育を必要とする児童の一時保育事業も行い、さらに利用者ニーズに対応できる体制を整備し、子育て世代への支援を推進していく。



元気の町づくりにつながる子育て広場

質問 若い世代の人口減少抑制策として、若い子育て家庭の転出抑制策は、

回答 日本学生支援機構の第1種奨学金の貸与を受け、卒業後県内に就職、町内に居住し3年以上継続した方に対し、最大で2万6千円を支援。27年度に事業を開始し、地

質問 いずれの年度も転出者が転入者を上回っており、5年間の転入者数924名、転出者数1118名で約1.2倍である。

回答 町社会福祉協議会が「地域食堂」を開催し、年代を問わず20名ほど集まる交流ができています。その他、高齢者どうしの交流と

質問 赤ちゃん誕生に妊婦の産前産後のケア事業として「不育症治療の導入」は、

回答 県内で不育症治療の助成を行っているのは村山市と長井市である。当町では需要の把握が難しい事などから導入については今後の研究課題とする。

質問 未来の子育てマのための、妊娠・出産子どもの成長記録をサポートする母子健康手帳アプリケーション、ママフレ山辺(仮称)と子育てベビー用品リース事業の立ち上げは、

回答 県内での導入は東根市と村山市である。月額管理料も発生することから、慎重に検討していく。ベビー用品のレンタルは、用品使用中の事故などの保証問題、事業実施主体などさまざまな角度から検討が必要であるため今後の課題とする。



若い世代の新居住宅にもあたたかい制度で応援を(さくらんぼタウン天神)

介護対策

山辺町の介護に対する取り組みは

(町長) 「高齢期を迎えても元気でいきいきとつながる町やまのべ」の取り組みを推進していく



安達 春彦

質問 高齢化に伴い、福祉や介護サービスの推進はますます重要になる一方で、2025年には社会保障費がピークを迎えるなど介護業界が抱える課題解決も重要になってきている。対して山辺町は、70歳以上の高齢者が2043人と地域人口の16.7%を占め、全国の中でも高齢化が進む地方だからこそ、これら課題に対する取り組みは緊急度が高い状況にある。



歌や運動への参加を推進して介護予防に

回答 埼玉県和光市ではこの課題に先駆けて取り組み、現在では介護予防の仕組みを確立し「アミューズメント・カジノ」をはじめとする、身体を動かしコミュニケーションを図る機会を継続して多く創出する

質問 各公民館で開催している「いきいき教室」や「きらり

質問 「頭の中に風が吹いた気がする」「参加して気持ち

質問 「世代間交流事業」は、児童生徒と社会、身の回りのおじいちゃん、おばあちゃんについて考え、互いに関心を育む素晴らしい機会を作れるのではと可能性を感じているが、どの程度計画が進んでいるか。

質問 高齢者が増える介護が必要になる方も増えると考えられるが、需要と供給のバランスはどのようになっているか。

質問 「いきいき教室」などの取り組みの参加者からはどのような声があがっているのか。

回答 「世代間交流事業」は、児童生徒と社会、身の回りのおじいちゃん、おばあちゃんについて考え、互いに関心を育む素晴らしい機会を作れるのではと可能性を感じているが、どの程度計画が進んでいるか。

回答 町内に各種老人介護施設や事業所があるが、施設によつて入所待ちや空きがあるなど違いがある状況。



児童・生徒と高齢者の世代間交流で和のあるやさしい地域に

総務文教常任委員会

指定管理者制度で安全確保を強化

平成31年4月から中央公園と体育施設（プールを除く）の指定管理者制度導入に向けた説明を受けました。施設管理の安全性確保と危機管理に対応できる適正な人員配置のための制度移行です。《人員増員》夜間・休日・祝日の管理体制を増員。《業務内容》貸館・維持管理・清掃整備など。より安全に、快適に体育施設が使えるよう期待します。



利用者の身になった管理・運営を

二市二町正副議長懇談会

かみのやま温泉観光案内所・総合子どもセンターを視察

山形市・上山市・山辺町・中山町の正副議長懇談会が8月10日に開催され、齋藤議長、神保副議長が出席しました。観光案内所は、かみのやま温泉駅前設置され、英語が話せる人員を配置し、多言語アプリを活用した案内カウンターをはじめ、地域特産品やイベントの紹介、地元物産を通じた魅力発信、甲冑の着用体験スペース、焙煎工房、授乳室などを兼ね備えた施設として3か月で外国人を含めて約3300人の方々が利用されています。総合子どもセンター「めんごりあ」は、上山市の地方創生と中心市街地の活性化を推進するため、子ども、現役子育て世代、高齢者の三世代が集って交流できる街なかの拠点施設として、ショッピングプラザカミンを整備したものです。管理運営は（株）東京ドームで、利用人数は一日平均1605170人（親子）土日・祝日は65700人。4月のオープンから7月末で約3万人を超え、新たな中心市街地の賑わいの核となっています。



かみのやま温泉観光案内所視察の様子

対象 地域の集まり・子ども育成・グループなどの団体

出前議会募集中!

お問い合わせ・お申し込み 議会事務局 ☎023-667-1117 ★お近くの議員までお気軽にお話しください

村山地方町村議会議長会議員合同研修会 議会のあり方を再認識

村山地方7町の議員が一堂に会する議員研修会が、9月26日に中山町を会場に開催されました。

研修では「地方議会のあり方について」町民は議会に何を期待しているのかを演題に、早稲田大学名誉教授の北川正恭氏より講演いただきました。

「中央集権主体から地方創生に時代は変化し、議会には地方自らが地域を創る、国を変えていくという覚悟と決意が求められる時代」「議会が何か一つ、一点突破・全面展開を徹底的にやってみる」など、議会活動が



議員研修の様子

見える地方議会のあり方を深く認識する研修会となりました。

厚生産業常任委員会行政視察 7月25日～27日

大阪府熊取町

町ぐるみで安心生活を応援

会場 熊取町役場

町ぐるみで子育て応援に取り組む熊取町は大阪府内で最大の人口44000人を誇り、数々の支援と自然豊かな住環境で、仕事と子育ての両立、働く若者年代の定住促進施策を実現していました。妊娠前から子育て期へと、切れ目のない支援は当町の施策と同様でしたが、転入促進・転出抑制の施策、3世代同居・近居などによる固定資産税課税の免除（期限付）、出産記念品贈呈、Uターン・Iターンや自己所有の住宅に対する種々の補助などが構築されていることは驚かされました。



熊取町（議場集合写真）

また地域活動を行う数々の団体は子育て支援の実践活動で協力しあい、地域協働と町政への参画意識と関心も高く、安らぎとほほえみの町であることを体現しているように見えました。将来を見据えた子育て支援策で若者世代の心をしっかりと掴み、人口減少抑制策に取り組む様子には、大いに学びました。

和歌山県田辺市

地域づくりから「コミュニティビジネス」へ

会場 秋津野ガルテン

10坪の中古プレハブ倉庫からスタートし、ついに夢を実現した「秋津野ガルテン」を視察しました。同法人は有志31名が出資して社団法人を設立し、地産地消のレストラン・宿泊施設を経営しています。地域の農工商連携・6次産業にソーシャルビジネスを推進し、旧秋津野小学校校舎をリノベーションした会場は素晴らしい施設でした。

会場内では副社長から、農を基軸にした地域づくりの授業を受講しました。「人口減少は、経済縮小と地域の活力低下に結びつく。地域農業の活性化と資源の活用は思いや夢だけでは経営は続かない。補助制度などでは『根』が育



旧秋津野小 研修風景

たないため、自立経営することのできる『実り』を得ている。地域の将来を行政に託すだけでなく、住民が考え汗を流すことで新たな価値を求め発展していく」と、農工商の連携による地域づくりについて学びました。

イベント情報

| イベント | 場所 | 期日 | 内容 | 問合せ |
|---------------------|-----------|----------|---|--------------------------------|
| 第5回山形ビッグウイングフェスティバル | 山形ビッグウイング | 12月1日～2日 | 「食」をテーマにした「村山広域7市7町うまいものフェア」と様々なイベントが同時に開催されます。 | 山形ビッグウイング Tel. 023-635-3100 |
| 上山城元旦登城 | 上山城 | 1月1日 | 上山城から初日の出を拝み3つの基地のパワーを貰いましょう。先着300名にプレゼントあり。 | 上山城郷土資料館 Tel. 023-673-3660 |